

かほく市史編さんだより

第9号 令和7年(2025年)6月15日



keep for the future
KAHOKU



▲創立記念式典（七塚小学校 令和5年7月）

▼記念植樹（金津小学校 令和5年10月）



▲航空写真の撮影（高松小学校 令和5年10月）

『創立150周年』

一昨年度から昨年度にかけて市内4つの小学校が創立150周年を迎えました。それぞれの学校では記念式典を開催し、児童の学習発表や伝統芸能披露など、地域の方々と共に創立150周年を祝いました。また、年間を通して植樹や写真撮影などの記念行事を行いました。

令和7年度は、宇ノ気小学校と外日角小学校が創立150周年を迎えます。

それではなぜ、この数年間で創立150周年を迎える学校が多いのでしょうか。（次ページに続く）



▲各地区のお祭りを披露
（大海小学校 令和6年11月）

新任 ごあいさつ

かほく市史編さん室 室長 岸 洋 平

前任の中田室長より室長を引き継ぎました岸です。よろしくお願い申し上げます。

私は昨年度まで教員として市内の小学校を中心に勤めて参りました。歴史に関しては素人ですが、社会科や総合の時間などに、かほく市の歴史や自然、文化、産業等、子供たちと学習する中で、ふるさとかほく市のよさを感じる事がよくありました。このことは、市史編さんの目的の一つである「かほく市に対する理解を深め、郷土の誇りとふるさと愛を育む基盤とし、市民自らによるまちづくりを推進する」ことに通じるのではないかと考えています。

市民に親しまれ活用される市史となるよう、編さんの様子を発信すると共に、皆さんのご協力を得ながら進めて参ります。

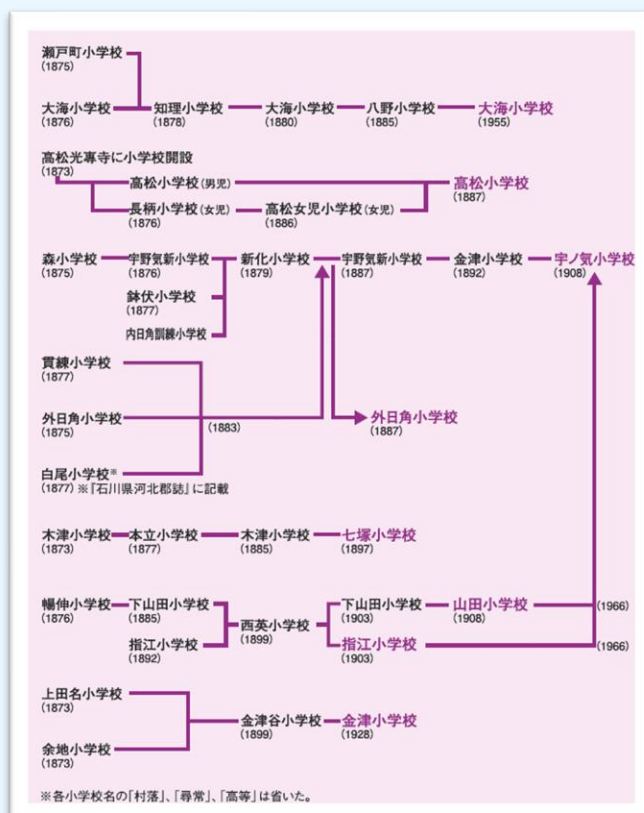
学制発布で地域が学校づくり

明治5年(1872)に明治政府が**学制**を**発布**し、「国民のすべてが初等教育(小学校での教育)を受ける」ことが定められました。これを受けて、かほく市域の村々でも小学校の整備が始まり、開校された学校が近年創立150年を迎えています。

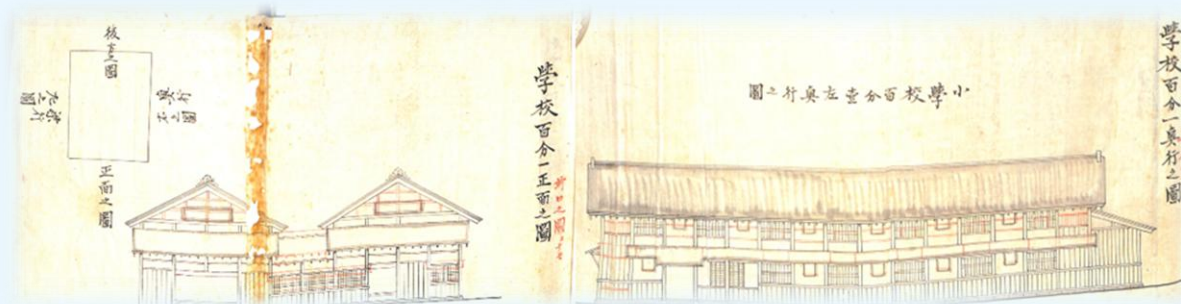
例えば、高松小学校は明治6年に高松村光専寺を仮校舎として開校しました。その後、明治9年に2棟の校舎を建築し、1棟を男児が学ぶ高松小学校、もう1棟を女児が学ぶ長柄小学校としました。

また、宇ノ気小学校の前身である森小学校は、明治8年の森村長楽寺の一部を校舎として開校しました。翌年には校名を宇野気新小学校として、森七郎左衛門の住宅の一部を用いました。

このように各村では民家や寺院を校舎にするなど苦心しながら学校づくりをスタートしたのです。



▲かほく市域小学校の変遷 (かほく市史図説編 112P より)



▲高松・長柄小学校外見図 (かほく市史図説編 113P より)

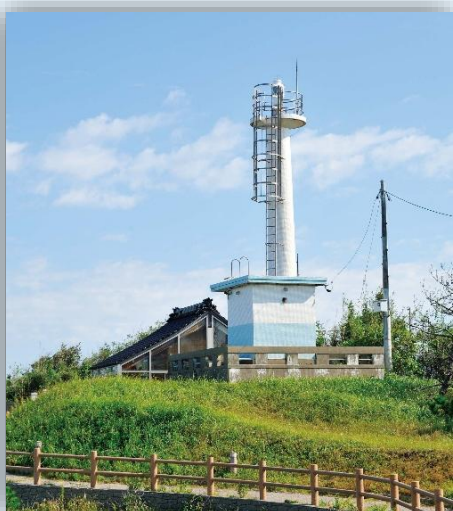
明治から昭和時代の様子が分かる資料(古い写真や、和紙に墨で書かれた文書など)を探しています。もし自宅等にありましたら、市史編さん室まで情報提供をお願いします。

「白尾灯台」

七塚町史によると、白尾灯台は大正 3(1914)年、河北郡立のものとして白尾の海岸砂丘上に設置されました。以降、日本海を航行する船舶・漁船の航路保全と海難救助に大きな役割を果たしてきました。単調な海岸線が続き、岬も港もない白尾に灯台が設置されたのは、加賀から口能登にかけての長い海岸線のちょうど中央に位置し、航路標識が必要とされたことのほかに、この土地が海に生きる漁業の村であったことが、大きな理由となっています。



▲設立時の白尾灯台



▲鉄筋コンクリートの白尾灯台

その後、灯台は大正 12(1923)年に七塚村立となり、さらに昭和 24(1949)年に国へ移管されました。当初は木造でしたが、昭和 42(1967)年に鉄筋コンクリート造の白亜の灯台に生まれ変わりました。その後も、外日角小学校の校歌に「丘の上灯台の、灯台の照らす光に」と歌われるなど、地域のシンボルとしても大切にされてきました。

それが、近年 GPS や電子海図などの技術が発達し、航海の安全性に寄与するようになり、従来の灯台による航行支援の必要性が減少したことにより、廃止される灯台が増えてきました。白尾灯台も平成 30(2018)年に廃止され、100 年以上も光を灯し、海と地元の方々を見守ってきた役目を終えました。

廃止された灯台は、本来は取り壊される運命ですが、地元の強い要請により、国からかほく市に譲渡されました。現在、白尾灯台の海を照らしていた「灯ろう」は取り外され、代わりに LED ライトが地域を照らしています。

地域の歴史的なお宝として、鬼ヶ山と日本海の美しい風景の一部として文化的価値の高い建造物と言えるでしょう。



▲白尾灯台継承式（令和元年 4 月）



取り外された「灯ろう」と「レンズ」は、かほく市の「うみっこらんど七塚 海と渚の博物館 かほくふるさと展示室」において展示されています。



図説かほく市の歴史と文化－「かほく市史」図説編－ かほく電子図書館で閲覧できます



資料詳細



図説かほく市の歴史と文化 - 『かほく市史』図説編-

著者：かほく市史編集専門委員会／編集 北國新聞社／制作

出版者：かほく市

コンテンツタイプ：電子書籍（フィックス）

✓ ログインなしで読むことができます。

ここをクリックするだけでログインなしで読むことができます

Windows
Mac

iOS
Android

読む

お手持ちの端末で下記のかほく電子図書館サイトへアクセス！
<https://web.d-library.jp/kahoku/>
 かほく電子図書館へは、図書館ホームページからもアクセスできます。



編さん室の歩み(活動記録) 令和7年2月～5月

2～5月 (寺社) 寺院古文書、石造物調査 5回 2/26, 3/13, 4/9, 5/28, 5/31	4～5月 (考古) 経塚現地調査、 収蔵庫遺物調査 4/30, 5/25
3～5月 (民俗) 古民家調査 3回 3/24, 4/23, 5/30	2月13日 第4回古代・中世部会
2～5月 (民俗) 聞き取り・現地調査 23回 2/2, 2/3, 2/19, 2/21, 3/10, 3/14～17 3/25～26, 3/28～31, 4/6	2月15日 編さんだより第8号発行
4月 (近代) 資料検索調査 2回 4/18, 5/14	3月7日 第2回近代部会
	3月13日 第1回寺社部会
	3月15日 第2回民俗部会
	4月26日 第1回古代・中世部会

お問合せ・資料の提供はこちらまで

〒929-1215
 かほく市高松ク4 2番地1
 かほく市高松産業文化センター 3階
 TEL：(076) 281-3455
 FAX：(076) 281-3521
 E-mail：shishi@city.kahoku.lg.jp →

かほく市史編さん室

かほく市史をお求めの方は
 こちらから ⇒
 ※遠方の方へは現金書留
 (送料実費) にて承ります。

